

# 富大比較文学

第二期 第三集

富山大学人文学部日本文学ゼミ編集・刊行

2020

- 村上春樹作品における「色を持たない登場人物」像について……………井関 優花（1）  
——『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』『騎士団長殺し』を中心に——
- 朝井リョウ『いつか、世にも奇妙な物語』……………岡本 由葉佳（22）
- 林真理子作品研究——『六条御息所 源氏がたり』を中心に……………塩見 彩乃（38）
- 江戸川乱歩「人でなしの恋」論……………下村 真世（82）
- 川端康成の小説観——「美しさと哀しみと」を中心に……………田代 雛子（101）
- 乙一の作家性……………畑山 彩恵（115）  
——作者の考える作家性と読者の考える作家性の違い——
- 日本古典文学における漢籍受容の研究——枕草子に着目して……………春成 里衣（144）
- 村上春樹作品の登場人物における「眠り」の意味……………古野 茉由（174）
- 志賀直哉「兎を盗む話」論……………寰川 麻裕美（194）

Ⅱ 編集後記 Ⅱ

富山大学人文学部日本文学ゼミによる、第二期『富大比較文学』第三集をお届け致します。

今号には、二〇一九年度卒業生から一〇名の論文を掲載する事となりました。寄稿いただいた皆さんに感謝申し上げます。

また、昨年のご退職まで二年間ご指導いただいた小谷瑛輔先生、卒論指導を担当していただいた磯部祐子先生、森賀一恵先生、大野圭介先生、そしてこの度『富大比較文学』の出版に向けてご支援いただいた西田谷洋先生に篤く御礼申し上げます。

今年度は、古典文学から清少納言、紫式部、近代文学から江戸川乱歩、志賀直哉、川端康成、現代文学から村上春樹、朝井リョウ、乙一と、時代も個性も様々な作品の論文が揃いました。各々が刺激しあい、日本文学について幅広い知見を得ることに繋がったのではないかと感じています。

第二期『富大比較文学』第三集が研究面での繋がりを広げ、深める一助となる事を願ってやみません。今後の発展に向けて、さらに精進して参りたいと存じますので、ぜひご意見、ご批評をお寄せいただければ幸いです。

(井関 優花)

第二期 富大比較文学 第三集

発行日 2020年2月6日

編集人 富山大学人文学部日本文学ゼミ

発行人 富山大学人文学部日本文学ゼミ

代表 西田谷洋

問い合わせ先 富山大学人間発達科学部西田谷研究室

富山県富山市五福3190

076-445-6308 (研究室 直)

nisitaya@edu.u-toyama.ac.jp